

平成 25 年度 流域管理の取組結果表

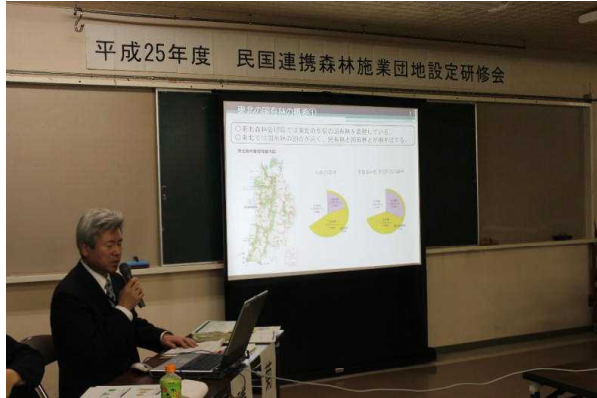
No. 117 (当初計画 : No. 113)

東北森林管理局

取組名	民国連携による森林共同施業団地の設定に向けた研修会の開催(新規)	
流域名	最上・村山流域(最上)	
分類番号	ウ-17	
実施箇所及び実施日	真室川中央公民館 平成 25 年 11 月 19 日	
取組の背景及び必要性	地域における森林整備等を推進するためには、隣接する民有林所有者と一体になり連携して施業を行うなど、より一層の効率化が求められていることから、施業の集約化に向けた普及・啓発の取組を継続して行う必要がある。	
取組の内容	山形県最上総合支庁等と連携し、森林共同施業団地設定に向けた取組として、座学による研修会を行った。	
	東北森林管理局計画保全部担当者を講師に招き、「民有林と連携した共同施業団地取組について」、「公益的機能維持増進協定とは」と題し、また、支署長から「今後の森林施業について」と題して講義を行った。	
	国有林担当部局・役割	山形森林管理署最上支署 (企画・準備等) 東北森林管理局計画保全部 (講師派遣、指導・助言等)
連携協働相手先・役割	山形県最上総合支庁、各市町村、各森林組合(連携・協力等)	
取組の結果、反響、今後の課題等	民国が共同して施業を推進する重要性を参加者が認識できたと思われる。 設定後は、施業の推進方法等が重要課題となる。	
PRの実施状況及びその期待する効果	取組を考えている市町村があることから、今後も打合せ等で内容を進めたい。	

【参考資料】

取組名	民国連携による森林共同施業団地の設定に向けた研修会の開催（新規）
-----	----------------------------------



講師による講義



参加者の受講風景



質疑応答中（参加者からの質問風景）

平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 118 (当初計画 : No. 114)

東北 森林管理局

取組名	治山事業による安全・安心の取組のPR (継続)
流域名	最上・村山流域 (最上)
分類番号	カ-27
実施箇所及び実施日	大蔵村南山地内 銅山川地区地すべり防止工事現場 平成 25 年 6 月 14 日 (金)
取組の背景及び必要性	国有林が実施する治山事業による安全・安心の取組を、より一層地元住民に理解していただくため、見学会を開催するなど積極的にPRしていく必要がある。
取組の内容	平成 4 年度から実施している民有林直轄地すべり防止事業「銅山川地区地すべり防止工事」による国有林の安全・安心の取組をより一層地元住民に理解していただくため、次代を担う地元の大蔵小学校の児童を対象とした現地見学会を開催した。
国有林担当部局・役割	山形森林管理署最上支署 (連絡・調整、見学会開催等)
連携協働相手先・役割	大蔵村教育委員会 (連絡・調整、協力等)
取組の結果、反響、今後の課題等	機会ある毎にPRを実施していく必要性を感じたところであり、今後も見学会を継続して実施する考えである。
PRの実施状況及びその期待する効果	治山事業による安全・安心が理解されたと考える。

【参考資料】

取組名 治山事業による安全・安心の取組のPR (継続)

最上支署HPにおける取組紹介

銅山川地区地すべり防止工事見学会の開催

— 治山事業による安全・安心の取組 —

山形森林管理署 最上支署

治山事業による安全・安心の取組として、国有林が実施している「民有林直轄地すべり防止工事」を広くPRし、より一層理解を深めていただくことを目的に見学会を開催しました。

平成25年6月14日(金)、地元の大蔵小学校6年生31名(当日2名欠席)を対象に、支署及び共同企業体の職員が地すべり発生のメ

カニズムや防止工事の内容等を説明した後、地すべりにより発生した滑落崖やトンネル排水工等の工事箇所を見学しました。

当日は気温が高く、トンネル内の低い気温と外に出てからの気温差に体調を崩す児童もいたため、



ジオラマでメカニズムを説明

意見発表の時間を省略し、最後は記念撮影のみとしましたが、初めて見る現場に「自分の住んでいる地域でこんな大規模の工事が行われていてびっくりした」などの声が聞かれました。

治山事業による安全・安心を理解していただくためにも、機会ある毎にPRを実施していく必要性を強く感じたところであり、今後もこの見学会を継続して実施する考えです。



全員での記念撮影

滑落崖を見学



トンネル内を見学

平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 119 (当初計画: No. 115)

東北森林管理局

取組名	「遊々の森」体験活動に対する支援 (継続)
流域名	最上・村山流域 (最上)
分類番号	カ-31
実施箇所及び実施日	ふながた薬師の森 平成 25 年 10 月 10 日
取組の背景及び必要性	遊々の森において、協定相手からイベント等への支援要請がある時に講師等の派遣や支援活動の充実を図る。
取組の内容	舟形町教育委員会と協定締結している「遊々の森」において、地元舟形中学校 1 年生を対象に森林環境学習が行われ、最上支署から 2 名の職員が講師として参加。
国有林担当部局・役割	山形森林管理署最上支署 (企画のアドバイス、講師派遣、技術指導、道具の提供等)
連携協働相手先・役割	舟形町教育委員会、ブナの実 21 (企画、中学校との連絡・調整、実施)
取組の結果、反響、今後の課題等	今年の現地はブナの実が豊作であったことから、落下したブナの実を食味させたところ、「ナッツみたいで美味しいから、お父さんのお土産にしよう」などユーモアたっぷりの意見がでたり、笑顔が絶えない 1 日となった。
PR の実施状況及びその期待する効果	協定締結相手方が町の教育委員会であるとの利点から、学校側と直接調整可能なことから、毎年森林環境教育が開催できている。

【参考資料】

取組名	「遊々の森」体験活動に対する支援（継続）
	<p>(ふながた薬師の森) 主催者挨拶（舟形町担当者）</p>
	<p>最上支署を代表し、地域統括森林官が 講義中（ちょっと緊張してませんか？）</p>
	<p>聴診器をブナの幹にあて、樹木の鼓動 を聞いています（聞こえる？聞こえない？）</p>

平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 120 (当初計画 : No. 116)

東北森林管理局

取組名	森林ガイド事業の実施 (継続)
流域名	最上・村山流域 (最上)
分類番号	カ-31
実施箇所及び実施日	鮭川村大字曲沢字興藏峠国有林ほか 平成 25 年 6 月 1 日
取組の背景及び必要性	国有林の管理、経営の実行に対する理解を深めるため、森林ツアー等を通じて、森林の多面的機能や自然の大切さを発信する。
取組の内容	国有林をフィールドにした鮭川村主催の「与蔵の森探検ツアー」に後援し、案内役等でスタッフ派遣を行った。
国有林担当部局・役割	山形森林管理署最上支署 (イベント企画のアドバイス、案内スタッフ)
連携協働相手先・役割	鮭川村観光協会、羽根沢温泉旅館組合、もがみ北部商工会、NPO 団体等 (イベント企画・募集、実施全般)
取組の結果、反響、今後の課題等	毎年開催され今回で 20 回目である。リピーターの参加が多く、羽根沢温泉への誘客も兼ねるなど一石二鳥にもなっているイベントであり、大変好評を得ている。
PR の実施状況及びその期待する効果	鮭川村ホームページへの掲載。手作りリーフレットによる募集で県外からの参加者も多い。

【参考資料】

取組名	森林ガイド事業の実施（継続）
	<p>(まぼろしの滝・与蔵の森探検ツアー)</p> <p>与蔵沼はまだまだ先です。 とても息が切れる山道でした。</p>
	<p>やっと着いたぞ与蔵沼。 大汗かいた甲斐がありました。 班ごとで記念撮影です。</p>
	<p>下山途中、モリアオガエルの卵を見つけました。</p>

平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 121 (当初計画: No. 117)

東北森林管理局

取組名	教育機関等からの要請に応じた野外活動の指導 (継続)
流域名	最上・村山流域 (最上)
分類番号	カ-31
実施箇所及び実施日	1 猿鼻街道 (2007 林班ほか) 平成 25 年 7 月 24 日 2 新庄森林事務所、新庄治山事業所 平成 25 年 9 月 9 日
取組の背景及び必要性	1 鮭川村教育委員会 (鮭川村立鮭川小学校) からの要請を受け、小学 1~5 年生を対象に課外教室として実施。 2 新庄市立沼田小学校からの要請を受け、小学 2 年生の生活科学習の一環として実施。 森林の大切さなど小学校低学年のうちから理解できるよう率先し、対応する。
取組の内容	1 鮭川村放課後子ども教室「わく ² どき ² スクール」と題して行った行事に、講師として森林官が参加した。 自然の中にある花、葉、木の実などを探すゲームを行い森林の大切さ、役割などを子供にわかりやすく説明した。 2 小学校の生活科学習の一環として、「町探検に行こう」の趣旨から森林事務所の仕事内容や森林の大切さ、役割などを子供にわかりやすく説明した。
国有林担当部局・役割	山形森林管理署最上支署、森林事務所、治山事業所 (説明、指導)
連携協働相手先・役割	1 鮭川小学校教職員、安全管理員 (調整、連絡、付き添い) 2 沼田小学校教職員、父兄 (調整、連絡、付き添い)
取組の結果、反響、今後の課題等	年度当初からの要請ではなかったが、出前講座的な役割での準備ができていたことから対応可能であった。今後もこのような要請に対応できるよう準備しておきたい。
PR の実施状況及びその期待する効果	小学生に説明すると同時に教職員の先生方にも森林の大切さや役割が伝わればありがたい。そして、先生同士の口コミから学習教育に導入してもらえればと考える。

【参考資料】

取組名	教育機関等からの要請に応じた野外活動の指導（継続）
	<p>(職場訪問)</p> <p>小学生の質問攻めに四苦八苦の森林官と治山技術官</p>
	<p>小学生にわかりやすく説明することが大変むずかしいことだと、改めて気づかされました。</p>
	<p>小学生には図鑑や写真で説明するのが一番です。身を乗り出して見ようとする姿がとても印象的でした。</p>